

情熱の羅針盤

No. 3 (2023.05.15)

【GW、どう過ごした？～これからの休日を上手く利用せよ～】

いわゆるゴールデンウィークが終わりまりました。世間では9連休などと声高に叫ぶ声も聞こえていますが、まあそれほどではないにせよ、いつもより休日は多かったですね。さて、皆さんはどんな過ごし方をしましたか。

4月からの疲れを取るためにしっかり休んだ！という人。それも大切なことです。久々に中学の時の友人と遊んだ！という人。それも良いでしょう。部活動に本格的に参加して上級生と練習した！という人。これも充実していたことでしょう。他にも家族と過ごした人、遠くへ出掛けたという人など、いろんな過ごし方があったことと思います。

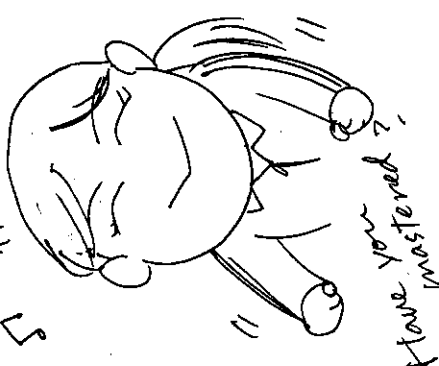


高校生にとって、休日・休暇は個人の裁量で過ごすことになる貴重な時間です。上述のように、各自の都合や判断で自由に過ごしてもらいたいところではあるのですが、祥雲生の休日は部活の他にも模試があったり、検定・資格試験があったり、プログラミング探究があったりと、とにかく忙しいものです。祥雲生の前には、週末に登校して準備や練習をしている人たちがいます。

もちろん今はまだ1年生なのでそれほど忙しい実感はないかもしれませんが、今後は複数のことを同時進行でこなす、といったことが普通に起こります。そして、言うまでもありませんが課題や予習・復習を含めた学習も、手を抜くわけにはいきませんよね。…よね？

そこで、計画や時間の使い方も含めた『自己管理』がとても重要になっていきます。「自由に使えるのはこの日の午後だ、じゃあここで趣味の○○をしよう。でも△△も少し進めないといけないから、○○に使うのは2時間までにしよう。で、夜は絶対予習をする！」といったことですね。

また、物事の優先順位を自分でつけていく習慣も大切です。自由時間が取れたとしても、そこに何もかもを詰め込むのは不可能です。何を真っ先にやるべきか、どれが先延ばしにしても大丈夫かを考え、場合によっては「時間があればやりたいけど、やらなくても人生に影響のないこと」は思い切って諦める勇気も必要かもしれません。



ノルディー手帳を活用している人は、右のメモ欄に「To Doリスト」を作るのもよし、予定を書き込む際に優先順位を表す記号を決めて記入するのもよしです。また、反対にその日に取り組んだことを簡単にメモしていく「やったことリスト」をつけるのもおすすめです。特に学習においては、このリストによって1週間の学習時間を合計したり、教科・科目に偏りがなかったかをチェックしたりなど、自分の取り組み状況を可視化することができます。これも大切な自己管理の1つです。

…とにかく、自分に合ったやり方は人それぞれ違うはずなので、試行錯誤してみると良いでしょう。あくまでも目的は「自己管理をできるようにする。そのための習慣を作っていく」ということです。皆さんの祥雲生ライフが本格的に忙しくなる前に、自分のペースの作り方を探ってみませんか。



【前期中間考査が迫ってきた！～テストと上手く付き合っていく～】

5月22日（月）から、前期中間考査が始まります。皆さんにとって、高校入学後初めてとなる大型考査です。ここで、年間に行われる考査の種類と時期について軽く触れておきましょう。

今年度の考査一覧（予定）

① 5月22日～…	前期中間考査
② 7月4日～…	前期期末考査
③ 8月31日～…	夏季課題考査（夏休み中の課題の理解度や取り組み具合がテスト）
④ 10月17日～…	10月考査
⑤ 12月7日～…	後期中間考査
⑥ 1月10日～…	冬季課題考査（冬休み中の課題の理解度や取り組み具合がテスト）
⑦ 2月21日～…	後期期末考査（学年末考査）

これとは別に各教科が実施する中テストや、3月に実施するステップアップテストなどもありますが、ひとまず主要なものを載せてみました。（※考査によって実施科目が異なる場合があります。）

これらは全て皆さんの成績や評価に関わっていくものなので、どれも大切にしたい…なんてことは言うまでもないことですが、「高校のテストってどんなんだろう？どんな準備をしていけば良いんだろう？」という不安を抱えている人もいますので、少しアドバイスを書いてみます。



① 授業をしっかりと聞く！

当たり前の話ですが、考査で出題されるのは授業で習ったことばかり。それを土台として、数字を変えたり単語の組み合わせを変えたりして問題のパリエーションを広げていることがほとんどです。よって、全ての土台は授業にあり、です。また、考査の話から少し広げると、実は大学入試の問題も、全て学校で習う授業の延長にあるものです。つまり今のうちから授業をしっかり消化していく習慣をつけておくことは、定期考査だけでなく2年後の受験勉強でも圧倒的に有利になります。授業内容が不安な人は、教科担当の先生にこまめに質問に行くなどしてみましょう。怪しいところを放置しないように！

② 早めに取り組み始める！

考査当日までに課題が出される教科もあります。もちろんその課題が理解の助けになるからこそ出されているものですが、これらの課題をいつまでも残したままではNGです。指示された日から少しずつ取り組み始めて、テストの前日には軽くおさらいをするくらいで大丈夫…といったペースを目標にしましょう。溜め込んでばかりだと直前になって焦るだけで、効率の良い学習はできませんよ。

③ 弱点を知る（＝取れるところを見付ける）！



よく「国語が苦手です」とか「数学がいつも取れません」と、漠然と教科自体（全体？）に苦手意識を持っている人がいますが、これは苦手な自分を肯定して気休めをしているだけで、ちっとも改善につながっていきません。もちろん好き嫌いはあるに良いけれど、「苦手なりに、どこで点数を稼ごうか？」と考えることが大切。例えば国語なら「漢字だけは全問正解してやる」とか、数学なら「基礎問題は完璧に仕上げよう」といった具合です。0か100かではなく、ちよっとでも取れるところはどこだ？と足掻いて学習してください。苦手だから…と全てを諦めるよりも、ずっと前向きでしょう？